



沖繩
元祖
プロダクト

特産品開発が雇用や島の活性化を促進

松本さんは、広告マンだった経験を生かし、地元「湧出」の湧き水と塩、黒糖などを使ったヒット商品「イエソウダ」や伊江牛などを次々と企画し、今年はお酒入りイエソウダも販売予定です。

イエソウダの原料として黒糖を提供する宮城良文さんは、この道三十年余の黒糖職人です。「島の特産品づくりのお手伝いができてうれしい」と、特産品づくりを楽しんでいます。

JAPANブランドとして村商工会が進める伊江島合鴨も新しい



シモン芋などの自然飼料で育てた伊江島合鴨

作り手の顔が見える個性豊かな、伊江もの“で離島から安心と元気を発信！”

伊江島の元氣仕掛け人が手がけるユニークな特産品

沖繩本島北部の本部港よりフェリーで三十分。タッチューの愛称で知られる城山がシンボルの伊江島は、百万輪のテッポウユリが咲き誇るゆり祭りや、千種以上のハイビスカスが咲くハイビスカス祭りがあり、「フラワーアイランド」として多くの観光客を魅了しています。

伊江村では、第三セクターの伊江島物産センターを事業主体に、紅芋、島らつきよつ、伊江牛、ローゼルなどの地域資源を使った新商品開発に取り組んでいます。

「見本市やイベントなどを通して、お客さんの反応を確かめながら商品を開発し、売れる商品意識した特産品開発に取り組んでいます」と話



伊江村役場商工観光課 松本壮さん

特産品のひとつ。経営指導員の安谷屋憲人さんは、「川がない伊江島には、渡り鳥の飛来が少なく、鳥インフルエンザの危険が低い。また、伊江島合鴨は、有名なイタリア料理の落合務シェフのお墨付きです」と積極的にPRを行います。



ローゼルやハイビスカスを使った新商品を開発

村営のハイビスカス園では、顔ほどの大きさのハイビスカスや珍しい色のハイビスカスなど、約千種を植栽しています。園の管理をしている村農林水産課の玉城正朝さんは、特産品原料のローゼルの栽培を担当しています。「観光客の落ち込む十二月にハイビス

す伊江村商工観光課の松本壮さん。特色ある島の特産品“伊江もの”の開発プロジェクトを行っています。

共に高め合い協力し合って、より良い品質を維持

農産物食品加工センターの大城賢さんは、特産品開発の現場を支える一人。「センターのコンセプトに、既存商品と競合せず、島のもので全く新しい加工品を作りたい」と話しています。伊江島の生産者は、ポテンシャルが高く、品質へのこだわりがあり、互いに良い緊張感があります」と話します。現在、ローゼルのアイスクリームや島の産物を原料にしたチョココレートの商品化に向け準備しています。



調理室や下処理室を備えた「農産物食品加工センター」

カス祭りを行い、集客を狙います」と、フラワーアイランド伊江島を支えています。

「小さな島の中で競争するのではなく、島外へ商品売り、島へ人を呼ぶことが大事」と安谷屋さん。松本さんも「各事業者はもちろん、役場、漁協、JAが切磋琢磨して作り上げた特産品は、魅力的な商品だが、伊江島ブランドとしてのイメージ統一が図られていない。今後はブランドイメージ作りを行いたい」と話します。

「人が島の元氣であり、資源です」と語る松本さんは、伊江村の元氣を総合的にプロジェクトしていました。

「伊江村に学ぶ」元氣プロジェクトの開発ヒント

- ・外からの視点を持つ、足元にある資源を見る
- ・インパクトのある広告戦略で「伊江島」に注目を集める
- ・自立・自活のできる島をめざした地域ブランドづくりへ



伊江村役場 商工観光課 ☎0980-49-2906 URL http://www.iejima.org
伊江村商工会 ☎0980-49-2742 URL http://www.ieson.jp/

香りが良く赤身の多いヘルシーな母牛を「伊江牛」として出荷しています。「自分で育てた牧草を飼料に使っているため、安心」と、自信を持って牛汁やシチュー、ハンバーグ、ビーフジャーキーなどの加工品に原料を提供しています。また、加工担当者に牛肉の熟成や柔らかくなる切り方などの指導を行い、共に特産品の品質向上に努めています。



ゆったりした環境の中で育てる伊江牛

編集後記

新年あけましておめでとうございます！毎年、ひとつ新しいことに挑戦することをモットーにしている私。去年は初めてバイクの競技会に参戦したものの、見事に転倒してバイクが傷だらけに(涙)。今年は触ったことのないMacPCを買い、いろいろ勉強しようと考えているのですが、その前に我が家の仕分け人の追求をどうかわそうか・・・(汗) (tako)

新年あけましておめでとうございます。12月になると手帳を新調しているのですが、古い手帳から新しい手帳にメモや予定を書き写しながら、ついつい今年の出来事を思い返したり、来年はどんなことをしようかと計画をたてたりしてしまいます。一年の計は元旦にありといいますが、毎年ちょっとフライングしてしまう私です。 (momo)



アンケート
「美ら島沖繩」のご感想をお聞かせください。
パソコンはこちら
http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

沖繩県広報誌
平成22年1月1日発行第34巻1号通巻412号
美ら島沖繩

企画・編集・発行 沖繩県知事公室広報課
〒900-8570 沖繩県那覇市泉崎1-2-2
TEL:098-866-2020
●表紙 写真・島袋常貴/
ハイビスカスを使ったお茶や
パッソープ、お酒を開発(伊江村)